

在日米陸軍：第38防空砲兵旅団司令部の駐留について



相模総合補給廠



(地理院地図及びWikipedia画像を使用)

平成30年10月16日、在日米陸軍の第38防空砲兵旅団司令部は相模総合補給廠に駐留し、正式活動を開始しました。

既存のミサイル防衛能力をより一層高めるために、日本に専任の上級司令部を新編する必要が生じ、同司令部が相模総合補給廠に駐留することになったものです。その任務は、既に日本に配属及び配備されている下位の防空砲兵部隊の運用に対する指揮、統制及び調整を行うことです。



写真：挨拶をするコステロ大佐

旅団長に就任しましたコステロ大佐は「今日は日本における統合ミサイル防衛への協力及びパートナーシップに新たな可能性をもたらす日であります」と挨拶しました。

横須賀パトロール：本町、大滝町、汐留町等環境対策委員会 会長 上田氏への局長感謝状・記念品贈呈式について

7月11日（水）、神奈川県横須賀市に所在する在日米海軍横須賀基地に隣接する繁華街：通称「どぶ板通り」を含む地区の夜間パトロールを主催し、地元町内会連合会と共に在日米海軍、海上自衛隊、南関東防衛局、横須賀防衛事務所、神奈川県警、ガーディアンエンジェルス等のボランティア等と月に1回、夜間パトロールと清掃活動を長年にわたり、実施してきた本町、大滝町、汐留町等環境対策委員会 会長 上田 滋氏へ堀地南関東防衛局長から局長感謝状と記念品が贈呈されました。

上田氏は、こういった活動を通じて、地元と在日米海軍の交流にも尽力されており、南関東防衛局もこの活動に参加し、日米交流のお手伝いをさせていただいています。



堀地南関東防衛局長（右）から感謝状を贈呈される上田会長（左）



南関東防衛局幹部と上田会長（前列中央）との記念撮影